

**電気学会 IEEEJ プロフェッショナル アクションレポート**

2007年3月・第2号

日本が第二次世界大戦の傷から立ち直り、復興の機運の中で、技術分野で活躍した世代が、現在 IEEEJ プロフェッショナルにご登録いただいている半数を超す方々であると思います。金も技術もすべて亡くした戦後、外国からお金を借りてインフラの構築をしました。産学官（当時は官です）の技術者が一致協力して、日夜研究・開発に努力して新しい技術をものにして来ました。そのお蔭で新しい日本独自の技術が生まれ、日本が世界に先進技術製品を提供する地位を築くことが出来ました。IEEEJ プロフェッショナルの皆様は、来る日も来る日も開発に明け暮れ、ひとつ克服するとまた次の開発テーマが待って居ると言う緊張の連続の中で、使命に燃えて頑張られたと思います。その後15年ぐらい経つと、技術の基盤が確立され、開発よりも作り方が問題になってきました。品質の良いものを、安く、短期間に作る手法が現場で開発されました。技術の標準化の時代です。現在研修セミナーの講師として、IEEEJ プロフェッショナルがご活躍いただいておりますが、アンケートを見ますと、「IEEEJ プロフェッショナルの経験と失敗談が聞けて本当に良かった」と沢山の方々が書いておられます。標準化時代の技術者の方々にとっては、IEEEJ プロフェッショナルが開発時代に経験した「成功のための少々の失敗」も許されなかった、厳しい時代であったと思います。今また理科教育振興と日本独自の新技術開発が叫ばれています。勇気ある日本の技術者を育てるために、IEEEJ プロフェッショナルの皆様からの技術伝承が期待されています。

IEEEJ プロフェッショナル 木村光夫

IEEEJ プロフェッショナル活動報告**活動報告 1 全国大会 IEEEJ プロ談話室**

昨年に引き続き今年度も全国大会（平成19年3月15～17日、富山大学）期間中に、IEEEJ プロフェッショナルの談話室を設置いたします。開催日時は**3月16日（金）12時～14時**です。場所は富山大学 五福キャンパス 経済学部講義室 405 教室（正面左側の建物4階）。活動状況の説明、今後の進め方の討議など、活発な意見交換を行いたいと思います。皆様のお立ち寄りをお願いします。

活動報告 2 高等教育機関の専門教育請負検討会

12月22日開催の検討委員会において、全国の大学に対し、アンケートにより非常勤講師担当学科を調査することになり実施しました。学部は59大学、71学科、大学院は56大学、68専攻から回答を得ました。アンケート結果と IEEEJ プロ対応力より、「電力」、「電気設計・製図」、「電力・電気応用」の3分野に絞って講師を受託する方向で進めています。企業寄付講座、電気学会集中講義など講習形態の可能性を検討中です。

活動報告 3 中学校理科教育支援プロジェクト決起

2月13日中学校理科教育支援プロジェクトを、13名体勢にて立ち上げました。まず、現在進行中の、武蔵村山市中学校理科教員支援を取り上げ、理科教材の作成、実験、見学、観察などのサポート計画と教材作成を教員と話し合っを進めます。武蔵村山市では、教育予算の見通しも立っており、電気学会との契約が出来次第実務を開始します。

活動報告 4 文部科学省理科支援員等配置事業 (SCOT計画) に IEEEJ 参加

- ・ 兵庫県小林弘和様が明石市、小野市の小学校5・6年生の理科教育に参加。
- ・ 石川県小原健司様が金沢市夕日寺小学校6年生の理科授業を行われました。

各地で SCOT 計画が動き出しております。電気学会本部で公募依頼を受けた場合は、該当地域の IEEEJ プロフェッショナルに紹介しています。直接地域で申し込んでいただいてもいます。

IEEEJ プロフェッショナル制度検討WGレポート

平成18年度 第4回WG報告：H19・3・9

- ・ 新規パートナー資格認定審査
- ・ 新 IEEEJ プロ資格認定審査
- ・ 中長期計画審議

高度教育機関の専門教育請負検討会議レポート

平成18年度第2回検討会報告：H19・2・28

- ・ 大学アンケートの結果より電力、設計と製図、電気電力応用の3部門に絞って進める。
- 今回は3月29日。



IEEEJプロ・ニュース

ニュース 1 都立産技研連携セミナー

2007年2月20日開催電気学会・東京都立産業技術研究センターの連携セミナーにて、東京都立産業技術研究センターが集計したアンケート結果と次回セミナーに対するテーマをお知らせします。

アンケートの結果：

- ・セミナーの理解度： 良い 68.5%
- ・セミナーの内容： 良い 65.7%
- ・テキスト・資料： 良い 40.5%
- ・講師： 良い 71.5%

次回セミナーの講師を募集いたします。

テーマは下記より選びます。1年先ですが登録を願います。

- ・医療機器の原理やセンサー、限界、今後の展望
- ・ロボットの制御技術
- ・地球温暖化（環境・CO2削減）に関する直接・間接技術
- ・ソフトウェアの安全設計、信頼性向上
- ・家電製品の開発から製造までの品質管理
- ・電気製品の余寿命と保守管理

ニュース 2 新潟自家用電気協議会

新潟自家用電気協議会から依頼のありました議題「停電対策の最前線～停電の原因と対策例」を IEEEJ プロ渡邊 稔氏が引き受け、市内の万代シルバーホテルにて100人に1時間30分の講演をされました。講演内容は「停電の種類と瞬停」、「電機事故の原因と対策例（雷以外）」、「雷現象と停電対策」です。好評でした。

ニュース 3 茨城支所講習会

茨城支所にて IEEEJ プロフェッショナルによる講習会が3回開催されました。

第1回：2006年11月8日 茨城大学水戸キャンパス

「エレベータの制御法と安全性」三井宣夫氏

第2回：2006年11月27日 茨城大学日立キャンパス

「技術創造と実用化マネジメント」

岡 圭介氏

第3回：2006年12月13日 茨城大学日立キャンパス

「高S/Nアナログ回路：計測・制御

用可変利得増幅と走査技術」

加藤和男氏

ニュース 4 マイウエイテクノ講習会

IEEEJ プロフェッショナルの広範な活動のためには、選定されたパートナーとの協調が必要です。平成17年度、18年度には、パートナーのマイウエイテクノサービス(株)にて、IEEEJ プロフェッショナル 深尾様、中野様、森本様が各種講習会講師として活躍いただきました。

ニュース 5 IEEEJプロ活動体制強化

IEEEJ プロフェッショナル活動を全国的に展開するためには、パートナーを増やすことと、IEEEJ プロフェッショナルの人数強化が必要です。制度検討WGでは、当面 IEEEJ プロフェッショナル100名体制を目指し、これに取り組んでおります。（現在審議中ですので、第3号にて18年度最終状況を報告いたします）

事務局からのご連絡

- ・ SCOT計画による理科教育支援が進んでいます。応募依頼が電気学会本部に来ることもあります。今後教育支援を行われる方々に役立つ情報を提供するために、すでにご活躍の IEEEJ プロフェッショナルの方々から、「楽しく教えるコツ」、「苦労話」、「学校のセキュリティ管理」など、お手数ですがメールにて提供いただきますれば幸いです。